

第 31 回馬の絵作品展審査講評

審査委員長 森戸 春樹

本年、馬の絵作品展に道内外から三百点を超える出品がありました。低学年は馬の様子を奔放に表現し楽しさが溢れています。中学年は馬の優しい表情や周囲に気配りした作品が多くあります。高学年は複数の馬や背景を細かく観察し丁寧に彩色しています。中学生は表現の多様さが一段と進み、馬の表情・情景をより正確に描こうとする作品が多く観られます。本年の文部科学大臣賞は運搬車から降ろされる馬の表情・動きを捉え、構図・デッサン・彩色共にしっかり描き切りました。多くの素晴らしい作品に出会えとても感謝です。

絵の題材としては、日常生活で見ること、接することが少なくなった馬ですが「馬の絵作品展」という絶好の機会を活用して挑戦してほしいと思います。次年度も皆さんの作品を待っています。